



見事な舞いに拍手喝さい

普代中学校(寺林拓也校長・生徒119人)の神楽同好会(山本一成会長、会員21人)は、10月25日、東京・銀座で開催された「銀座アキュユ2003」のパレードに、村の観光キャンペーンを兼ねて上京、中野流鶉鳥七頭舞を披露しました。パレードには、全国から鼓笛隊やプラスバンドなど約4,500人が参加。その中、日本橋から銀座までの約2.5^{キロ}を

もの見事に舞い、拍手喝さいを浴びました(写真)。神楽同好会のメンバー21人は、今回の銀座アキュユ2003のために、移動しながら舞う中野流鶉鳥七頭舞に挑戦、毎晩のように練習を重ねてきました。引率者として同行した菊池英雄教頭は、「午前は数寄屋橋公園で、午後は銀座アキュユ江戸東京“華”のパレードに参加しました。郷土芸能に自信をもっている子どもらの姿は、観客に感動をあたえる素晴らしいものでした」と、満面の笑みで感想を語ってくれました。

社会福祉法人普代福祉会デイサービスセンター(野崎貞信施設長)では、交通安全教室「高齢者の事故防止について」と、題して村デイサービスセンターを利用する方々約百六十人を対象に十月二十七日から三十一日までの五日間、久慈警察署普代駐在所の萱場久司所長を招いて講話を開きました。講話会では、ビデオ「大岡越前のお年寄りの交通安全」を見ながら交通安全について学びました。萱場所長は、実際に起きた交通事故の例や高齢者を狙った悪質な訪問販売で多額のお金を支払わされたお話を披露。また「訪問販売は百件のうち九十九件はだますために来ていると思ってください」と、話し「見覚えの無い借金の請求書がきたり、孫を語ってお金を振り込ませたりする事件もおきてい



夜は光るもの身につけて

ます。毅然とした態度ではつきり断ることが大事。万が一のときは警察や役場に相談してください」と、巧妙な手口の怖さについて語り講話を終えました(写真)。

白井の須田トミヨさん(八七)は「交通事故も怖いけど、孫がお金をくれとだまされるのも恐ろしい。これからは気をつけます」と神妙な顔を向けてくれました。



ABCDEF...英語で会話、心ハッピー



趣味・教養講座の英会話教室が村教育委員会(沼田英雄教育長)主催で、十月三十日、自然休養村管理センターを会場に開かれました。英会話教室は一般コースで、十八歳以上を対象に募集されジェニファー・フレッチさん(村教育委員会ALT)外国語

指導助手)が、実際に役立つ内容と題して指導。第一回目の三十日は、中央区の下谷地克恵さん(四七)と堀内の宮本美奈さん(二五)が参加。ジエニファーさんとのお話はハイレベル(高い水準)で進められました。下谷地さんは「盛岡で英語を習っていたことがあります。機会があれば英会話をもっと覚えたい」と思っていました」と語り、宮本さんは「英語を仕事に生かしたい」と流ちょうな英語と日本語を混ぜ合わせながら話してくれました。趣味・教養講座では、英会話教室を十一月六日、二十七日、十二月四日と今後三回予定しています。興味のある方は、村教育委員会(☎2711内線176)まで、お問い合わせください。